市辺地区まちづくり協議会広報誌

万葉のまち 市辺
いちのべ

第49号
令和元年10月

好天のグランドにひびく声援とふかまる交流
がんばれ！がんばれ！・・市辺地区ふれあい運動会

発行：市辺地区まちづくり協議会 ／ 東近江市市辺町２３９１
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 050-5802-3392
ホームページ 万葉のまち市辺 ichinobe.com

ichinobe.com
万葉のまち市辺

10月27日（日）　いちのべ万葉フェスタ

笑って、食べて、感動し！
ショッピングもできた
楽しい一日でした。

市辺地区市民ふれあい運動会

10月6日（日）

好天の市辺グランドに
　５３２人が入場行進。
力走、奮闘、熱戦に
　声援と歓声
ふれあいの広がった
　　一日になりました。

順　位	町　　名	点　数
優　勝	三　津　屋	７４
準優勝	長谷野・布引	６２
第３位	布引台二丁目	５８
第４位	西　市　辺	５５
第５位	布引台一丁目	５４

特集《減災》を考える　No.3

減災のまちづくり

皆さん、毎月１日の夜に防災無線放送で減災についてのお知らせが始まったのをご存知ですか。受信機の設置されていないお家もあるようですが、減災プロジェクトの活動の一つとして取り組むこととしました。

地区の皆さんに一人でも多く減災の意識をもっていただければ嬉しいです。

また、自主防災組織の充実や、災害弱者と言われる人達の安否確認を中心とした個別支援計画の作成などプロジェクトの活動も最終段階になってまいりました。

巨大地震に備えて、自分の命は自分で守り、その上で隣の人々や地域の人々の助けとなる活動を行っていく、そのことが自助・共助の考え方です。

皆さん、これからできることを確実に実行し、災害の際に「しておいて良かったね」とお互いが話せる市辺になるよう頑張りましょう。

減災のまちづくりプロジェクト　榎木　貞夫

市辺れきし発見塾　歴史・文化部

万葉歌人「山部赤人」について

９月２２日（日）午後、歴史・文化部のシリーズ「市辺れきし発見塾」が開催されました。今回のテーマは「万葉歌人『山部赤人』について」とされ、講師に、東近江市下麻生町の石岡昌一さんを迎えて開催されました。

石岡さんは、はじめに「新しい時代『令和』が始まって５ヵ月になった。元号『令和』は万葉集・第五巻『初春の**令**月（れいげつ）にして、気淑（よ）く風**和**（やわら）ぎ』から」と、その出典に触れられました。つぎに、市辺地区は「万葉集」を代表する相聞歌の舞台として有名であるとし、額田王と大海人皇子の相聞歌を紹介されました。

もう一つの万葉集ゆかりの地「下麻生」

石岡さんは「山部赤人（やまべのあかひと）は、万葉集に長歌１３首と短歌３７首を残している。聖武天皇の行幸によく随行し、天皇賛歌が多いが続日本書紀などに名前がなく、下級官人であっただろう。しかし、歌の世界では『歌聖』と呼ばれ、『三十六歌仙』のひとりである。聖武天皇が行幸と遷都を繰り返され、紫香楽宮まで随行した赤人は宮仕えから離れ、蒲生野の一角、下麻生の里に小さな庵を結び、観音様を守り、歌を詠む静かな晩年を送った。

下麻生という村里は、縄文晩期には集落があり、昔話『おびのかけはし』が伝えるように老若男女仲良く暮らす里であった」と話され、「昔話」の紙芝居の熱演や歴史的な資料も沢山紹介されました。

よってみてカフェに参加して

障がいがあっても地域で当たり前に生きていくため、まずは知ってもらうこと。そのきっかけの一つとして８月５日（月）３組の親子と共に「よってみてカフェ」に参加させてもらいました。

初めての試みで、お互いにどうなるだろうと言う緊張の中で始まりましたが、あっという間にその緊張は解け一緒に体操したり、お菓子を食べたり、工作したりと、ゆったりとした時間を過ごすことができました。居るだけでみんなが笑顔になる。そんな子どもたちとの交流が、これからも続いていくことを願っています。

子どもの未来を語る会　代表　勝見聡子

※よってみてカフェ「こぼし」は本誌第４５号にも紹介されています。

「子ども見守りの活動」に表彰

９月２８日、東近江市あかね文化ホールで開かれた「東近江地区交通安全推進大会」東近江地区交通安全推進大会において、糠塚町子ども見守り隊と柏町スクールガードが地域で交通安全活動を積極的に推進した団体（交通安全功労団体）として表彰されました。

表彰状
柏町スクールガード様
貴団体は交通安全の重要性を深く認識し地域における交通安全啓発活動を積極的に推進され多大の成果をおさめられました
その功績は他の模範となるものであります
ここに記念品を添えて表彰します
令和元年九月吉日
東近江警察署
署長　瀧岡英典
東近江地区交通安全推進大会
会長　山田清史

幅広い広報ツールFacebook準備中

市辺地区まちづくり協議会には、２０１０年１月に開設されたホームページ「万葉のまち・市辺」があります。現在も毎月８００件を超えるアクセスがありますが、ＳＮＳの普及により多くの方がTwitter・Facebook・ LINEなどを利用されるようになりました。

今般、コミセンを含めた「幅広い広報ツール」として新たにFacebookの活用を検討し、９月初旬にまちづくりネット東近江に講師をお願いし関係者の勉強会を行いました。

来春には、多くのみなさんの参加する双方向の「まちづくり情報発信」ができるよう準備を進めています。

健康・福祉部

特定健康診査の現状と今後

平成２０年度から始まった特定健康診査（４０歳から７４歳）も今年で１２年目を迎えています。開始当初、市辺地区の東近江市国民健康保険の特定健康診査受診率は、市内１４地区でも上位を占め、市平均の受診率を大きく上回っていました。しかし、近年は受診率が年々低下し平成３０年度の受診率（暫定）は３７．４%で、市平均の３８．８%を下回ってしまいました。ちなみに国の特定健康診査受診率の目標は６０%です。

健康診査は病気の早期発見だけでなく、健康の維持、病気の予防に役立てるもので、自分の体を知るきっかけとなるものです。豊かな人生を送るために、健康づくりの一環として健康診査を受けましょう。

市辺地区まちづくり計画健康福祉分野では健康診断の受診率の向上を目標としています。※データや資料は東近江市保健センターの提供によるものです。

部会だより

歴史・文化部

８月の地蔵盆のビデオ撮影については、各町皆さんのご協力により無事終了し、年明けにはお披露目の開催を目指して編集中です。

第１回目の「市辺れきし発見塾」は、去る９月２２日、講師に下麻生町の石岡昌一氏をお迎えし、万葉歌人「山部赤人」のゆかりの里にまつわる行事などを紙芝居でお話して頂き、歴史の凄さや深さに一同感心したところです。

御代参街道を歩く（第２回）

集　合：１１月２３日（土）８時　布施公園集合

コース：近江鉄道で大学前から日野駅まで乗車し、日野から御代参街道を上り長谷野まで

多数の参加をお待ちしています！

（歴史・文化部　部長　苗村 久男）

自然・環境部

国連でスウェーデンの１６歳の少女が涙ながらに訴えました。「生態系が壊れる。絶滅を前にしている。私たちの未来を奪わないで」。そうです、このままでは若い人たちの未来は、奪われてしまうのかもしれません。あるテレビの番組で、氷河がガサガサと音を立てて崩れて行くのを見ました。温暖化により「氷」でいられなくなった氷河が溶けて行くのです。白い氷は太陽熱を反射しますが、むき出しになった地表は太陽熱を吸収し、一層地球を暖めます。いま、地球が危ないのです。若者の未来が危ないのです。その危機を回避するため、私たちは活動します。生ゴミの焼却は、エネルギー等を使って居られないのです。環境問題を学んでもらうため、２月初め見学旅行を実施します。

（自然・環境部　部長　　小西 恵美子）

子ども健全育成部

私たち子ども健全育成部部員１０名は、万葉フェスタの日に、凧作りをしました。多くの子どもさんに参加していただきありがとうございました。

今年度の下半期には、育成会とコラボさせていただき、百人一首に挑戦したいと思っています。中高校生になると百人一首の学習も盛んであり、幼い時から親しんで、少しでも身近に感じていただければ良いと思います。お兄さん、お姉さんに刺激を受けて、よし僕も、私もと奮起して、百人一首を覚え、特に気に入った和歌を、大事に、かるた取りの場で、自分のものにしてほしいと思います。１枚でも２枚でも多く取れるように頑張って下さい。

（子ども健全育成部　部長　中村　好美）

健康・福祉部

健康福祉部のテーマである「地域で支え合う健康と福祉のまちづくり」の取り組みを行います。

今年度の事業は、①健康づくりの実践の場づくり。９月２５日（水）布施公園で、市辺地区グランドゴルフ大会の開催を協力応援いたしました。②認知症予防、脳の活性化を目指して“みんなで楽しく歌おう”１２月３日（火）午後１時～２時３０分、市辺コミセンホールに勝見聡子、杉沢明子先生を招いて、市辺地区老ク連のふれあいサロンのアトラクションを行います。なお、午後１時からは公開講座となりますので一般の方も参加いただけます。③健康福祉講演会開催、来年３月１３日（金）午後１時３０分～午後３時、市辺コミセンホールで「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために」と題して医療、介護福祉について、花戸貴司先生（東近江ロータリークラブ会員・永源寺診療所長）をお迎えして講演をしていただきます。大変貴重なお話と伺っております。是非皆さんのご参加をお待ちしております。

（健康・福祉部　部長　今井　肇）

安全・安心部

安全・安心部は夏期の防犯パトロールに参加させていただきました。引き続き年末の防犯パトロールにも参加を予定しています。

また、万葉フェスタの際には、災害発生時の非常食として日本赤十字社のハイゼックスを用いた『塩おにぎり』と簡単に作れる『乾パンおかゆ』の調理・試食を多くの皆様に体験していただきました。併せて災害時の手作り代用品（新聞紙スリッパ、段ボールトイレ、簡易マスク等）の展示もご覧いただきました。平常時のこうした体験が緊急時の一助になればと考えております。

最後になりますが、来年２月にＡＥＤ講習会を八日市消防署にて開催する予定です。詳細は後日回覧させていただきますので、多くの皆様の受講をお待ちしております。

（安全・安心部　部長　柴田俊幸）

地域活力部

今年は、ムラサキの生育が不作で、来年３月に蒔く予定の種の確保に苦慮しています。みなさんの栽培されているムラサキの種ができましたら提供をお願いします。地域活力部の取組内容の一つである「万葉のまち市辺をアピールする活動」としてムラサキの栽培を行ってきましたが、土壌や気候などの影響もあるのか、最近では栽培が難しくなっています。

話題は異なりますが、テレビの番組で兵庫県鶴居地区の活性化協議会（まちづくり協議会）が童話「つるのおんがえし」の発祥の地であることを活かして、地元をＰＲされていると報道されていました。万葉の森船岡山または市辺地区の楽しい昔話があれば、地域活力部までお知らせください。

（地域活力部　部長　森島　安夫）

編集後記

１０月１日から消費税が８％から１０％に増税された。全ての物が２％上がったのではなくて訳の判らない軽減税率とやらが実施されている。どこのテレビ局のワイドショーでも事例を挙げて１０％と８％の区別を専門家交えて説明されているが、なんとも分かりにくい税率である。生活弱者を助けるつもりの軽減税率だが、困っているのが食品関係の小売業者のようだ。私も、よく外食をするが、内食、外食と、どちらか「一言」宣言しないといけないらしい。お店に「一言」いうなら、御上に「一言」とも「二言」も言いたい。T.K